

フランス劇クアリア  
シアターX提携公演

フランスの現代劇作家ジャン・ポール・アレーグルと

翻訳・演出の岡田正子のコンビが

二年ぶりに贈る世界初演のサプライズ

ジャン・ポール アレーグル 最新作

フランス現代劇 **世界初演**

天国への  
Deux tickets pour le paradis  
L'AVANT-SCENE THEATRE 出版

# 二枚の切符

これは天国の話。天国の話と言っても、ヒューマンで優しく、悲しく、  
そして詩情にあふれたアレーグルならではの「揺れ動く天国」のお話

Jean-Paul ALEGRE

翻訳・演出 岡田正子

Cast

アンジェリック・小倉美香 ジェフ・坂本岳大 ペテロ・牛山茂 マリア・杉村理加 神・松岡文雄

2011年4月14日(木)~17日(日)



開場は開演の30分前、受付開始は開演の45分前

劇場 東京 / 両国 シアターX カイ



ジャン・ポール アレーグル 最新作  
フランス現代劇 世界初演

# 天国への 二枚の切符

Deux tickets pour le paradis  
L'AVANT-SCENE THEATRE 出版

Jean-Paul ALEGRE  
翻訳・演出 岡田正子

## Cast



アンジェリック  
小倉美香



ジェフ  
坂本岳大



ベテロ  
牛山茂



マリア  
杉村理加



神  
松岡文雄

## ジャン・ポール アレーグル

現代劇作家の中で最も注目されている一人である。1951年5月13日生まれ。1970年テアトル・デュ・フィル・アリアンス設立。作品は、英語、ドイツ語、スペイン語を始め、ロシア語、アラブ語、日本語、エストニア語など15カ国語に訳され、35カ国にも及ぶ国々で上演されている。また、フランス劇作家の中で、フランスで最も上演回数が多い作家である。2004年「アニエス・ベラドヌ」でアカデミーフランセーズ(エミール・オージェ賞)受賞。「行き交い」では2003年リヨン市フェスティバルで劇作家賞受賞。2011年1月までフランス劇作家協会会長を務めていた。SACD(劇作家及び劇作曲家協会)の演劇部門理事に選出される

## 岡田正子 (訳・演出)



東京生まれ。小林正・鈴木力衛にフランス語を学ぶ。1953年渡仏。1955年パリでベラ・レーヌ女史に出会い、日本人として初めて師事。6年間ベラ・レーヌ・システム(演技の基礎訓練)を学び、教えることを許され、1964年、帰国後現在に至るまで47年もその普及に努める。69年～82年まで、同級であったニコラ・パタイユの日本での演劇活動を訳者、演出助手の立場で支え、24作品に参加。1983年より、現代フランス作家の優れた作品を数多く発掘し、自ら訳・演出し、初演を続ける。1996年フランス政府より芸術文化勲章(シュバリエ)を贈られる。ギイ・フォアシーの紹介で、ジャン・ポール・アレーグルに出会い、「急流の男」、「人生の始まりは劇場から」(02年初演)、「アニエス・ベラドヌ」(04年日仏同時初演)、「行き交い」(06年初演)、「砂の病」(09年日仏同時初演)、そして今回「天国への二枚の切符」を世界初演する。岡田正子の訳としては、怪人社による上演「七つの大罪より「大食い」」。アレーグル作「フライトナンバー 2037」は2012年フランス演劇クレアシオン上演予定。

これは天国の話。天国の話と言っても、ヒューマンで優しく、悲しく、そして詩情にあふれたアレーグルならではの「揺れ動く天国」のお話。ある時天国に、ジェフという青年が迷い込んでくる。ジェフという名以外、自分のことは全く憶えていない。これには全能の神を始めとし、あのマリア様から聖ペテロ、それと神の娘のアンジェリックまで大パニック。おまけに、このジェフがキリスト教の神秘的というか信じがたい点をえぐっては、あっけらかんと神に質問するから神もタジタジ。神はトゥール・ド・フランス(国際自転車競技)の話まで持ち出しながら、ジェフの記憶を呼び戻そうとするのだが… さて、どうなる?天国は?そしてジェフは?

岡田正子が主宰するフランス演劇クレアシオンは商業演劇の網目にはのりにくい、フランス現代演劇の作品、作家を日本に紹介することを心がけ、自ら訳し、演出してきた。その目的はフランス演劇のもつ内的表現の優れた点を大切に、質の良い舞台を作ること。この目標に共感した多くの役者たち、スタッフによって長年にわたり日本初演を続けてきた。そのうちフランスと同時世界初演は二回。今回の「天国への二枚の切符」も作者自身の依頼により言葉や文化の違い日本で世界初演が行われることになった。

翻訳・演出 岡田正子

作・ジャン・ポール アレーグル

美術:皿田圭作 音楽:北爪道夫 音響:富田健治  
照明:朝日一真 衣装:井上よしみ 舞台監督:川前英典  
演出助手:高橋信康・滝井サトル  
制作:富田日出子・吉水恭子  
制作補:高山泰治 制作協力:貝山幸子  
協力:渡辺守章(訳使用)・福田恆存(訳使用)  
協力:綜合舞台・アトリエリフレ チラシ制作:(株)ミュゼ  
著作権管理:フランス著作権事務所  
協賛:鹿島建設 主催:フランス演劇クレアシオン

### ■ チケット (全席自由)

一般チケット 4,500 円 / 学生チケット 3,000 円 (公演当日学生書提示)

### ■ チケットご予約・ご購入

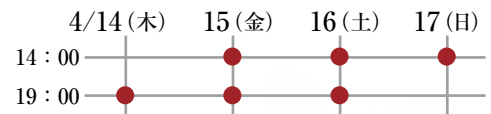
- ・インターネット(パソコン) <http://frenchdramacreation.com>
- ・インターネット(携帯) <http://cnfti.com/met3102/>
- ・電話予約 カンフェティエーチケットセンター  
TEL 0120-240-540 (平日 10 時～18 時)



### ■ 公演期間 2011年4月14日(木)～17日(日)

上演時間 約90分(休憩なし)

開場は開演の30分前、受付開始は開演の45分前



### ■ 公演場所 シアターX(東京・両国)

東京都墨田区両国 2-10-14 TEL 03-5624-1181



### ■ お問い合わせ

Eメール [french.drama.creation@gmail.com](mailto:french.drama.creation@gmail.com)

フランス演劇クレアシオン HP <http://frenchdramacreation.com>

\*公演期間中のお問合せ:シアターX TEL 03-5624-1181